

dentsu

2018年 電通グループの改革へ向けて

代表取締役 社長執行役員
山本 敏博

* 本資料に含まれる数値、指標は、事業の実態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、財務諸表の数値とは異なる場合があることにご留意ください。用語の定義については、当社IRサイトのAppendicesをご参照ください。

2018年2月15日

当社グループの最優先課題

(国内)

1

「労働環境改革と企業基盤整備」

(グループ)

2

「ビジネス・トランスフォーメーション」

1 「労働環境改革と企業基盤整備」

労働時間短縮
と品質向上を
両立させる改革

企業基盤
「全体」
の改革

未来を
ひらく改革

法令遵守の徹底・過重労働の撲滅

2 「ビジネス・トランスフォーメーション」

[電通グループの事業環境変化]

クライアント ニーズの変化

マーケティングファネル
全体でのROI・KPIの追求統合プランニング手法の
精密化/洗練化

メソッドの機能進化

生活者の変化

複数デバイスによる接点
・購買接点の多様化生活者接点を捕らえる
研究開発/パートナーシップ

データ基盤整備

メディアの変化

社会で進行する不可逆な
デジタルイゼーション

パラダイムシフトを牽引

メディア/コンテンツ事業
の变革

[電通グループの目指す変革]

マーケティング・コミュニケーション事業の深化

2 「ビジネス・トランスフォーメーション」 (国内事業)

グループ内の機能強化・体制再整備

積極的な他社連携/投資



2 「ビジネス・トランスフォーメーション」 (国内事業)

データ・アーティスト社の子会社化



AIによる
デジタルを含めた
統合プランニング
の高度化

マーコム領域の
トップラインの拡大

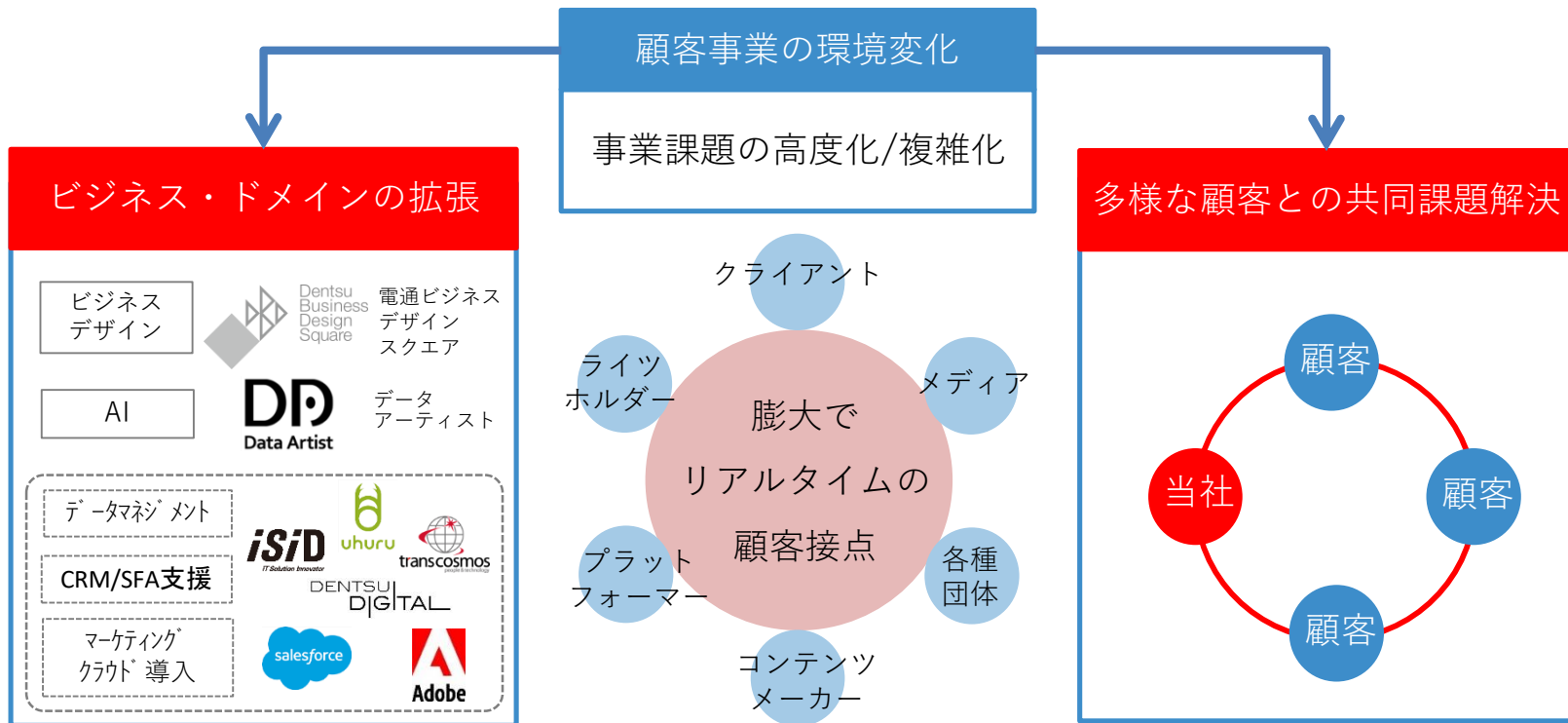
AIによる
業務効率向上・
HRM*等の
高度化

グループ全体の
企業基盤の高度化

AIを活用した
新事業の展開

新収益の獲得

2 「ビジネス・トランスフォーメーション」 (国内事業)

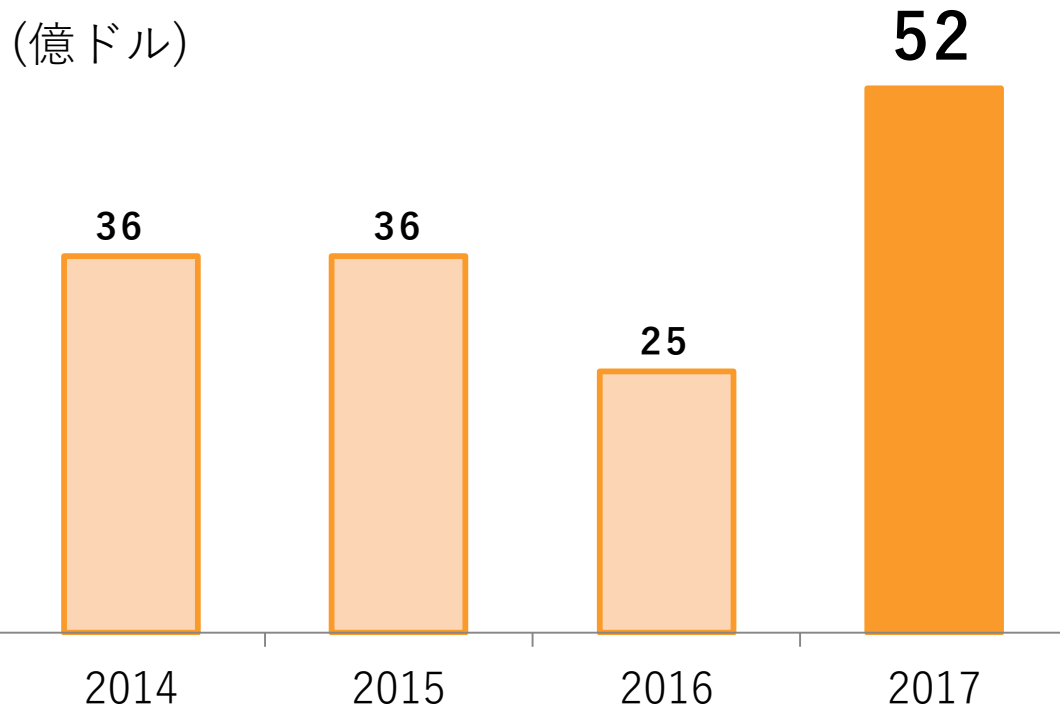


[電通グループの目指す変革]

事業パートナーへの進化

2 「ビジネス・トランスフォーメーション」 (海外事業)

過去最高のネット新規ビジネスの獲得額



2 「ビジネス・トランスフォーメーション」 (海外事業)

Dentsu Aegis Network 2018 戦略プライオリティ

過去最高であった新規獲得のモメンタム維持

- ・競争力とイノベーションの加速
- ・M1プラットフォームの展開：PBM*へのシフトを促すデータ戦略
- ・クライアントへ、フル・カスタマー・ジャーニーの提供

* People-based marketing

グローバル・インフラへの投資

- ・ビジネス効率化のためのグローバル・プラットフォームや共有システムへの投資
- ・意思決定迅速化のためのオペレーションの標準化

M&Aの継続

- ・成長とイノベーションを後押しする、デジタル領域での買収の継続

ビジネス・トランスフォーメーション を加速するための積極的な投資

既存事業の
機能拡充

事業ドメイン
の拡張

海外事業のみならず、国内事業・グループ全体で推進する事業での
投資も積極的に探索・実行

電通グループは、

顧客のビジネス・トランスフォーメーション

を実現する最良のパートナーへ。

dentsu